



## 桑原治雄教授を送る

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2010-03-08 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 里見, 賢治 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10466/6855">http://hdl.handle.net/10466/6855</a>

## 桑原治雄教授を送る

大阪府立大学社会福祉学部長  
(社会問題研究会会長)  
里見賢治

桑原治雄教授は、本年3月末をもって本学部を定年にて退任される。先生が本学部にて在任されたのは4年間という比較的短い期間であったが、先生には精神保健学をはじめとする精神障害福祉の領域の中心を担っていただいた。

先生は、1956年慶應義塾大学経済学部に入學され、3年後の1959年に進路変更して京都大学医学部に編入學されるというユニークな経歴を持っておられる。医学部卒業後は大学院医学研究科に進學され、その後、京都府立洛南病院・向陽保健所技術吏員、和歌山県立五稜病院精神科医長、三重県立高茶屋病院精神科医長、北野病院神経精神科副部長などを歴任された後、1986年から1992年まで国立公衆衛生院精神保健室長、1992年から1997年3月まで滋賀県立精神保健総合センター次長を務められた。三重県に勤務中には、1973年6月から1年間カリフォルニア大学バークレー校に留學されている。この間、勤務された病院や保健所を拠点として地域精神医療活動を進められ、それらが先生のライフワークに結びついたとうかがっている。

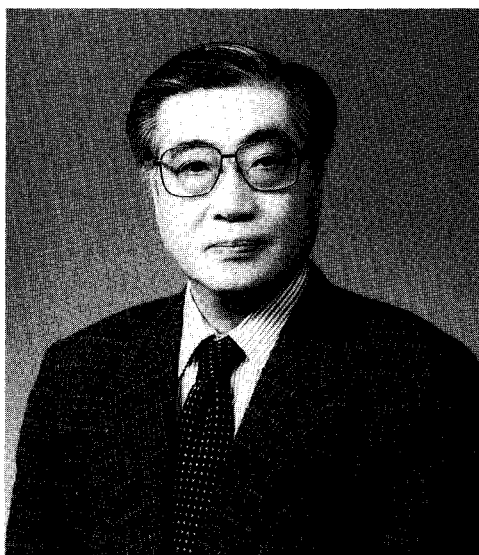
先生のご専門は精神医学であるが、とくに地域精神保健活動に研究上も社会的活動上も焦点を集中されてきたように思われる。先生は1969年から1992年まで和歌山県有田郡清水町の精神衛生（保健）嘱託医を23年間にわたって勤められ、その間のご経験が、社会的視野を持った先生のご研究に大きな影響を与えてきたとのことである。

縁あって先生には、1997年4月から本学部の精神保健学担当の教授として

おいでいただくことになり、以来4年間、学部では精神保健学・医療福祉論・社会福祉学特講（精神医学）などを、大学院では博士前期・後期課程の講義・演習を担当していただき、多くの学生・院生を育てていただいた。先生の本学部在任中には間に合わなかったが、本学部でも2002年度から精神保健福祉士資格課程を設置することが昨年9月の教授会で決定され、現在その実現に向けて準備中であることは、先生を送る最大の饞の一つとなったのではないかと思う。

短い間ではあったが本学部への先生のご貢献に深謝するとともに、先生のご健康といっそうのご研究の進展をお祈りして、この記念号を捧げる次第である。

2001年1月19日



桑原 治雄 教授

